

関西学院大学（人間福祉学部 人間科学科）

所在地：兵庫県西宮市

「世界市民」を育成するという関西学院大学の教育理念は、Mastery for Service（マスタリー・フォー・サービス）というスクールモットーによって象徴されています。「奉仕のための練達」と訳されるこのモットーは「将来、他者のために、社会貢献する」ということを示しています。

募集定員	人間福祉学部 人間科学科	100名
------	--------------	------

入試方法	①AO入試	②スポーツ能力に優れた者を対象とする入試	③一般入試	④センター試験利用入試
------	-------	----------------------	-------	-------------

募集方法		詳細	
AO入試	<u>3名</u>	人間科学科	3名
スポーツ能力に優れた者を対象とする入試	<u>30名</u>	人間科学科	30名
一般入試	<u>35名</u>	全学日程（3教科型）	13名
		学部個別日程（英語・国語型）	13名
		関学独自方式（英語・数学型）	9名
		関学独自方式（関学英語併用型）	
センター利用入試	<u>15名</u>	1月出願（5科目型）	13名
		1月出願（3科目型）	
		1月出願（英語検定試験活用型）	
		3月出願（4科目型）	2名
		3月出願（3科目型）	

入試スケジュール

		出願受付	試験日	合格発表
AO入試	人間科学科<第1次審査>	8/25-9-1	9/19	9/25
	人間科学科<第2次審査>		10/7	10/13
スポーツ能力に優れた者を対象とする入試	人間科学科<第1次審査>	8/25-9/1	9/12	9/15
	人間科学科<第2次審査>		9/19	9/25
一般入試	全学日程（3教科型）	12/25-1/15	2/1	2/9
	学部個別日程（英語・国語型）		2/4	2/15
	関学独自方式（英語・数学型）	12/25-1/12	2/5	2/15
	関学独自方式（関学英語併用型）			
センター利用入試	1月出願（5科目型）	12/25-1/12	1/13.14	2/9
	1月出願（3科目型）			
	1月出願（英語検定試験活用型）			

	3月出願（4科目型）	2/26-3/10	1/13.14	3/15
	3月出願（3科目型）			

① AO入試

種類	出願要件（抜粋）	必要書類	選考方法
人間科学科	<p>関西学院大学人間福祉学部を第一志望とし強く入学を希望する者で、以下AまたはBに該当する者。合格した場合は本学に入学することが条件になります。</p> <p>A. 一般【（1）、（2）に該当する者。なお人間科学科志望者については（3）にも該当する者】</p> <p>（1）高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、もしくは2017年4月1日～2018年3月31日までに卒業見込みの者。通常の課程による12年の学校教育を修了した者、もしくは2017年4月1日～2018年3月31日までに修了見込みの者。または[※]学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者、もしくは2017年4月1日～2018年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>（2）次の①～⑤のいずれか一つの出願資格該当番号におけるアピールができる者。 （ただし、括弧内は例示であり、それと同等またはそれ以上の実績や能力があると自己評価する場合も該当する者とする）。</p> <p>なお、対象となす成績は、高校入学後の実績に限る。</p> <p>①実績評価（文化・芸術活動・社会貢献活動（ボランティア活動や地域活動）などにおいて優れた実績を持つ。ただし、スポーツの競技実績は除く）</p> <p>②体験・経験評価（他の生徒とは異なった貴重な体験や海外における異文化交流体験がある、国内において農村文化交流体験をした、社会福祉に携わったなど）</p> <p>③創造力評価（よりよい社会の提唱に関わる起業プランやプロジェクト案を持つ。例えば、[児童を犯罪から守る為のコミュニケーション作り]や[老人や障害を持つ者にやさしいまちづくり]など）</p> <p>④能力・資格評価（語学検定などの資格を有する、コミュニケーション能力に優れている、または高度な技術や資格を有する。例えば、弁論大会入賞、英検、TOEFL[®]、簿記検定、介護福祉士もしくはホームヘルパー、保育士の資格など）</p> <p>⑤リーダーシップ評価（学校生活や学外、コミュニケーションの活動において、リーダーシップを発揮した）</p> <p>（3）人間科学科を志望する場合に特に求められる要件 人間理解に対し、特にこころ（スピリチュアリティ）の視点からアプローチ興味があるもの（具体的には、死生学、悲嘆学、生命倫理学などの授業やフィールドワーク）を通じて、人生の意味やいのちの尊厳、こころのあり方などに関わる理論や実践を学ぶことを希望し、その領域で研究や活動に関心があるなど。）詳細については、人間福祉学部人間科学科のホームページの『人間科学科で学ぶ「こころ（スピリチュアリティ）について』』に掲載しているパンフレット及び映像を参照すること。</p>	<p>人間福祉学部自己推薦書 調査書（厳封） 資料説明表と添付資料</p>	<p>第1次審査 筆記試験</p> <p>第2次審査 面接審査（個人面接）を行い、提出書類および第1次審査の結果と合わせて総合的に評価します。</p>

② スポーツ能力に優れた者を対象とした入試

種類	出願要件（抜粋）	必要書類	選考方法										
人間科学科	次の用件のすべてに該当する者。 (1)①～③のいずれかの条件を満たす者。 ①2018年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者。 ②2018年3月に通常の課程による12年の学校教育を修了見込みの者。 ③2018年3月31日までに学校教育施行規則第150条の規定により高等学校卒業見込みと同等以上の学力があると認められた者。 (2)本学への入学を志願し、入学後、学業と体育会でのスポーツ活動を両立させる強固な意欲を持ち、学業に努力し所定の卒業条件を達成する強い意志を持つ者。 (3)出願しようとする学部の以下に定める学力基準を満たす者。 高等学校もしくは中等教育学校*において、入学時より第3学年1学期末までの（2学期制の高等学校に在学している場合は、第2学年末までの） 全体の評定平均値が3.3以上 である者。 (4)以下に掲げる「競技基準」以上の実績を持つ者。（高等学校入学後の実績に限る。）	調査書 志望理由書 競技成績証明書 活動実績照明資料 運動能力測定証明書	第1次審査 書類審査 小論文 第2次審査 面接										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>出願資格該当番号</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>オリンピック、世界選手権大会、各種国際大会に出場した者</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、全国高等学校選抜大会、国民体育大会等の全国大会に出場した者。</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>1.都道府県選抜チーム（代表）に選ばれた者。 2.地区レベルの大会に出場した正選手もしくは、出場したチームの正選手として出場した者。 ※地区レベルの大会とは近畿大会、九州大会、北信越大会などの大会を指す。 3.都道府県レベルの大会においてベスト8以上の正選手、もしくはベスト8以上のチームの正選手として出場した者。</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>そのた、本人が①～③と同等の競技成績をあげていることを、新聞・雑誌記事・連盟・協会等の資料によって証明できる者。 例)・本人の持つ公式個人記録が①～③と同等レベルの記録であることが証明できる者。 ・本人が正選手として出場した大会が①～③と同等レベルの大会・成績であることが証明できる者。など</td> </tr> </tbody> </table>			出願資格該当番号	基準	①	オリンピック、世界選手権大会、各種国際大会に出場した者	②	全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、全国高等学校選抜大会、国民体育大会等の全国大会に出場した者。	③	1.都道府県選抜チーム（代表）に選ばれた者。 2.地区レベルの大会に出場した正選手もしくは、出場したチームの正選手として出場した者。 ※地区レベルの大会とは近畿大会、九州大会、北信越大会などの大会を指す。 3.都道府県レベルの大会においてベスト8以上の正選手、もしくはベスト8以上のチームの正選手として出場した者。	④	そのた、本人が①～③と同等の競技成績をあげていることを、新聞・雑誌記事・連盟・協会等の資料によって証明できる者。 例)・本人の持つ公式個人記録が①～③と同等レベルの記録であることが証明できる者。 ・本人が正選手として出場した大会が①～③と同等レベルの大会・成績であることが証明できる者。など
	出願資格該当番号			基準									
	①			オリンピック、世界選手権大会、各種国際大会に出場した者									
	②			全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、全国高等学校選抜大会、国民体育大会等の全国大会に出場した者。									
③	1.都道府県選抜チーム（代表）に選ばれた者。 2.地区レベルの大会に出場した正選手もしくは、出場したチームの正選手として出場した者。 ※地区レベルの大会とは近畿大会、九州大会、北信越大会などの大会を指す。 3.都道府県レベルの大会においてベスト8以上の正選手、もしくはベスト8以上のチームの正選手として出場した者。												
④	そのた、本人が①～③と同等の競技成績をあげていることを、新聞・雑誌記事・連盟・協会等の資料によって証明できる者。 例)・本人の持つ公式個人記録が①～③と同等レベルの記録であることが証明できる者。 ・本人が正選手として出場した大会が①～③と同等レベルの大会・成績であることが証明できる者。など												
・出願時に 出願資格審査 を行います。													

競技種目	募集人員
サッカー*、陸上競技、ラグビーフットボール*、アメリカンフットボール*	各種目2名以内 計8名以内
硬式庭球*、硬式野球*、相撲*、スキー競技、スケート、水上競技（競泳）、卓球、ソフトテニス、バレーボール、バスケットボール、レスリング*、ハンドボール、体操（器械体操）、空手道、剣道、バドミントン、ゴルフ、弓道	各種目1名以内 計18名以内
ボクシング*、アイスホッケー*、馬術、ヨット、日本拳法、ボート、準硬式野球*、フェンシング、陸上ホッケー、重量挙げ*、射撃、洋弓、カヌー、ラクロス	左記の種目から4名

注 1) 競技種目「アメリカンフットボール」は、アメリカンフットボール以外の競技実績を持つ者の出願も受け付けます。

注 2) 競技種目「空手道」は組手競技のみとします。

注 3) 競技種目ごとの募集人員は、出願状況や判定結果により調整されることがあります。

注 4) 人間福祉学部人間科学科は、2019 年度入試より募集人員、募集競技種目の見直しを行います。

③ 一般入試

必要書類

入学志願票・調査書

<全学日程[3 教科型]>

3 教科型	教科		科目	配点	合計点
	必須	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」 「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」	200 点	
国語		「国語総合」「現代文 B」「古典 B」(いずれも漢文除く)	200 点		
いずれか 1 科目選択	日本史	「日本史 B」	150 点	550 点	
	世界史	「世界史 B」			
	地理	「地理 B」			
	数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学 A」「数学 B」の「数列」と「ベクトル」			

- 「英語」「国語」「日本史」「世界史」「地理」はマーク式のみ出題とし、数学は記述のみ出題とする。 ●選択科目は科目の調整のため、中央値補正を行う。
- 同一日(2月1日)実施学部間は併願不可。

<学部個別日程[英語・国語型]>

英語・国語型	教科	科目	配点	配点	合計点
	必須	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」 「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」	200 点	
国語		「国語総合」「現代文 B」「古典 B」(いずれも漢文除く)	150 点	350 点	

- 「英語」「国語」はマーク式・記述式の出題とする。 ●中央値補正は行わない。 ●同一日(2月4日)実施学部の併願は不可。

<関学独自方式日程[英語・数学科型][関学英語併用型]>

英語・数学科型	教科	科目	配点	配点	合計点
	必須	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」 「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」	200 点	
数学		「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学 A」「数学 B」の「数列」と「ベクトル」	150 点	350 点	

- 「英語」「国語」はマーク式・記述式の出題とし、「数学」は記述式のみ出題とする。 ●「英語」の基本配点は 200 点とし、250 点に換算する。
- 中央値補正は行わない。 ●同一日(2月4日)実施学部の併願は不可。

	教科	科目	配点	配点	合計点		
関学英語併用型	本学独自試験	英語	「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」 「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」		200点	450点	
			大学入試センター試験	国語	「国語」(古典は古文と漢文のいずれかの高得点を採用)		150点
	数学①	「数学Ⅰ」「数学A」		いずれか 高得点の 1科目を採用 ※理科①は2科目の合計を1科目として扱う	100点		
	数学②	「数学Ⅱ」「数学B」					
	理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」					
	理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」					
	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」					
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「論理、政治・経済」						

- 大学独自試験「英語」はマーク式・記述式の出題とする。 ●本学独自試験「英語」の中央値補正は行わない。
- 大学入試センター試験「数学」「理科」「地理歴史」「公民」について、2科目以上受験した場合は、次の条件を適用したうえで、高得点の1科目を合否に採用。
(1)「理科」において、理科①は2科目の合計点を使用。理科②から2科目受験した場合は、第1解答科目を使用。(2)「地理歴史」「公民」において、2科目受験した場合は、第1解答科目を使用。
- 同一日(2月5日)実施入試との併願は不可。

④ センター試験利用入試

必要書類	入学志願票・調査書
------	-----------

<1月出願【5科目型】【3科目型】【英語検定試験活用型】>

	教科	科目	配点	配点	合計点	
5科目型	必須	外国語	「英語」「リスニング」	200点	700点	
		国語	「近代以降の文章」「古典」※古典は、古文と漢文いずれかの高得点を利用	200点		
	いずれか 1科目採用	数学①	「数学Ⅰ」「数学ⅠA」	100点		
	いずれか 1科目採用	数学②	「数学Ⅱ」「数学ⅡB」「簿記・会計」「情報処理関係」	100点		
	高得点の 1科目 を採用	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」			100点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」			
公民		「現代社会」「倫理」「政治・経済」「論理、政治・経済」				

	教科	科目	配点	配点	合計点	
3科目型	必須	外国語	「英語」「リスニング」	200点	600点	
		国語	「近代以降の文章」「古典」※古典は、古文と漢文いずれかの高得点を利用	200点		
	高得点の 1科目 を採用	数学①	「数学Ⅰ」「数学ⅠA」	200点		
		数学②	「数学Ⅱ」「数学ⅡB」			
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」			
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」			
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「論理、政治・経済」					

英語検定活用型	教科	科目	配点	配点	合計点
	必須	国語	「近代以降の文章」「古典」※古典は、古文と漢文いずれかの高得点を利用	200点	400点
	高得点の 1科目 を採用	数学①	「数学Ⅰ」「数学ⅠA」	200点	
		数学②	「数学Ⅱ」「数学ⅡB」		
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」		
地理歴史		「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」			
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「論理、政治・経済」				

●大学独自試験「英語」はマーク式・記述式の出題とする。 ●本学独自試験「英語」の中央値補正は行わない。●本学独自試験「英語」の基本配点は200点とし、300点に換算する。

●大学入試センター試験「数学」「理科」「地理歴史」「公民」について、2科目以上受験した場合は、次の条件を適用したうえで、高得点の1科目を可否に採用。

(1)「理科」において、理科①は2科目の合計点を使用。理科②から2科目受験した場合は、第1解答科目を使用。(2)「地理歴史」「公民」において、2科目受験した場合は、第1解答科目を使用。

●同一日(2月5日)実施入試との併願は不可。

<3月出願【4科目型】【3科目型】>

4科目型	教科	科目	配点	配点	合計点
	必須	外国語	「英語」「リスニング」	200点	500点
	高得点 3科目 を採用 (各100点)	国語	「近代以降の文章」「古典」	300点	
		数学①	「数学Ⅰ」「数学ⅠA」		
		数学②	「数学Ⅱ」「数学ⅡB」「簿記・会計」「情報処理関係」		
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」		
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」		
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「論理、政治・経済」				

3科目型	教科	科目	配点	配点	合計点
	必須	外国語	「英語」「リスニング」	200点	600点
	高得点 2科目 を採用 (各200点)	国語	「近代以降の文章」「古典」※古典は、古文と漢文いずれかの高得点を利用	400点	
		数学①	「数学Ⅰ」「数学ⅠA」		
		数学②	「数学Ⅱ」「数学ⅡB」「簿記・会計」「情報処理関係」		
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」		
地理歴史		「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」			
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「論理、政治・経済」				